

# 決算報告書

(第 2 期)

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

株式会社 スキム

東京都立川市錦町1-4-20

## 貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	【 2,501,564】	【流動負債】	【 110,663】
現金	827	短期借入金	37,363
普通預金	2,393,525	預り金	3,300
前払費用	107,212	法人税等充当金	70,000
【固定資産】	【 87,465】		
(投資その他の資産)	( 87,465)	負債の部合計	110,663
保証金	87,465	純資産の部	
		【株主資本】	【 2,478,366】
		(資本金)	( 5,000,000)
		(利益剰余金)	( Δ2,521,634)
		繰越利益剰余金	Δ2,521,634
		純資産の部合計	2,478,366
資産の部合計	2,589,029	負債及び純資産の部合計	2,589,029

損 益 計 算 書

科 目	金 額	円
【売上原価】		
外注費	620,200	
合計	( 620,200)	620,200
売上総損失		( 620,200)
【販売費及び一般管理費】		
通信費	95,011	
賃借料	214,424	
消耗品費	640	
支払手数料	866,291	
租税公課	121,050	1,297,416
営業損失		( 1,917,616)
【営業外収益】		
受取利息	2	2
経常損失		( 1,917,614)
税引前当期純損失		( 1,917,614)
法人税等		70,000
当期損失		( 1,987,614)

## 株主資本等変動計算書

	自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日 単位 円				
	資本金	株主資本			純資産の部
		利益剰余金	株主資本	利益剰余金	
	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金	利益剰余金	利益剰余金	
当期首残高	500,000	△534,020	△534,020	△34,020	△34,020
当期変動額					
新株の発行	4,500,000			4,500,000	4,500,000
当期純損益金		△1,987,614	△1,987,614	△1,987,614	△1,987,614
当期変動額合計	4,500,000	△1,987,614	△1,987,614	2,512,386	2,512,386
当期末残高	5,000,000	△2,521,634	△2,521,634	2,478,366	2,478,366

## 個 別 注 記 表

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

### I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 資産の評価基準及び評価方法

##### ① 有価証券の評価基準及び評価方法

###### ア 時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法によって処理し、売却原価は移動平均法により算定しています。）

###### イ 時価のないもの

移動平均法による原価法

##### ② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しています。ただし、原材料は最終仕入原価法を採用しています。

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産

定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（付属設備を除く。）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については定額法）を採用しています。

##### ② 無形固定資産

定額法を採用しています。

#### 3. 引当金の計上基準

##### 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

##### 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

##### 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額により計上しています。

\*なお、いずれも当期引当額はありません。

#### 4. 収益及び費用の計上基準

#### 5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

##### ① リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

なお、未経過リース料総額は、×××千円であります。

##### ② 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

#### 6. 会計方針の変更

会計方針の変更はありません。

II. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当該事業年度の末日における発行済株式の数 ×××株
2. 当該事業年度の末日における自己株式の数 ×××株
3. 当該事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項  
令和××年××月××日の定時株主総会において、次の通り決議されました。
  - ① 配当金の総額 ×××千円
  - ② 配当の原資 利益剰余金
  - ③ 1株当たり配当額 ××.×円
  - ④ 基準日 令和×年×月×日
  - ⑤ 効力発生日 令和×年×月×日
4. 当該事業年度の末日後に行なう剰余金の配当
5. 当該事業年度の末日後における新株予約権等の数